

報道関係者各位  
プレスリリース



2018年2月15日  
株式会社ウェーブスプリッタ・ジャパン

### 100Gbps 光トランシーバ製品販売開始のお知らせ

この度、ウェーブスプリッタ・テクノロジー社(米国)の日本法人である株式会社ウェーブスプリッタ・ジャパンでは、日本におけるインターネットや携帯網のブロードバンド化に対応するため、高速光トランシーバで主流となる100Gbps製品について、5種類の主要業界標準製品を揃え、販売開始いたします。

#### 【製品の概要】

■ 用途に応じてお選びいただける、5種類の100Gbps 光トランシーバ製品

<http://www.wavesplitter.jp/index.php/services/wavesplitter-lineup>

モデル名	最大伝送距離	準拠標準	特長
WST-QS28-SR4-C	100m	SR4	IEEE802.3bm 準拠 短距離
WST-QS28-P4-C	500m	PSM4	多芯ファイバ(MPO)用中距離低価格
WST-QS28-CM4-C	2km	CWDM4	2芯ファイバ(LC)用中距離低価格
WST-QS28-4ML-C	10km	4WDM-10	2芯ファイバ(LC)用長距離低価格
WST-QS28-LR4-C	10km	LR4	IEEE802.3ba 準拠 長距離



WST-QS28-4ML-C

## 【製品の特徴】

これまでデータセンター業者にとり、100Gbps光イーサネットの導入に大きな障害となっていたのは、IEEE 標準の 100Gpbs LR4 製品のコストでした。IEEE 標準では比較的 low コストの 100Gpbs SR4 が規格化されていますが最大伝送距離が 100m と短く、経路が制限され直線距離で敷設する事が出来ないデータセンターのラック間には不十分です。最大伝送距離 10km の LR4 でこれに対応した場合過剰な仕様であり、高コストを招いてしまいます。

そこで、主に米国のデータセンター事業者が中心となり、これらの間を埋める、低コストで中距離伝送に適した通称 MSA (Multi-Source Agreement) と呼ばれる業界標準が誕生いたしました。たとえば当社の MSA 対応製品であれば、**伝送距離が 500m の PSM4 や 2km の CWDM4 準拠製品が、IEEE LR4 準拠製品の 3~4 割程度、IEEE LR4 と同じ伝送距離 10km を持つ 4WDM-10 準拠製品でも半額程度と、たいへん低コストで 100Gbps を導入いただくことが可能となりました。**(価格は当社比)

高信頼で効率の良いデータセンター構築に不可欠な製品であります。

## 【ウェーブスプリッター・テクノロジー社について】

ウェーブスプリッター・テクノロジー社は米国カリフォルニア州に本社を置く、データセンターや携帯通信のバックボーンネットワークなどで使用される光イーサネットや、科学計算などで使用される HPC (ハイ・パフォーマンス・コンピューティング) システムなどで必要不可欠となる、光通信モジュール製品を製造販売する企業です。

## 【株式会社ウェーブスプリッター・ジャパンについて】

株式会社ウェーブスプリッター・ジャパンは、ウェーブスプリッター・テクノロジー社 (米国) の日本法人です。これまで日本未発売であったウェーブスプリッター・テクノロジー社 (米国) 製品の日本国内における輸入販売事業を行い、国内のお客様へ高品質で安定した、価値ある製品を提供してまいります。

会社名 : 株式会社ウェーブスプリッター・ジャパン  
所在地 : 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-14 朝日神保町プラザ 203  
最高執行責任者 : 櫻井 豊  
URL : <http://wavesplitter.jp/>

## 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ウェーブスプリッター・ジャパン

広報担当: 菅野

E メール: [support@wavesplitter.jp](mailto:support@wavesplitter.jp)